

星(3年) 決勝進めず

走り高跳び
三段跳び 小玉(2年) 白樺学園
らも無念

全国高校総体

陸上

【山形】全国高校総体育大会(インターハイ、東北総体2017)陸上競技の最終日は2日、山形市のNDソフトスタジアム山形で行われた。十勝関係選手では、男子走り高跳びで星輝斗(江陵3年)が1筋95で予選1組14位、寺井悠

真(帯柏葉同)は記録なしで終わり、共に予選を通過できなかった。女子三段跳びは小玉葵水(白樺学園2年)が11筋74で2組12位、菊地ひかり(同同)が11筋36で19位で決勝に進めなかった。男子円盤投げは予選1組に3人が出場し、竹中一晃(池田3年)が21位、大平宗太郎(帯農同)は30位、真野奨太(同同)は記録なしに終わり、予選敗退となった。(北雅貴、金野和彦)

星 好調も緊張解けず

1筋98の高さに置かれたバーが無情にも落ち、星輝斗の初のインターハイは終わった。山形入りしてからは調子が上がっていた。「助走から踏み切りのタイミングまで、これまでの自分ない



【男子走り高跳び・予選1組】1筋95のバーを2回目の跳躍でクリアする江陵の星輝斗

ぐらいの感覚。絶対調だった。決勝に進めるかもしれない」と2筋03を目標に掲げるほど、手心えをつかんでいた。予選は自己記録の1筋95からのスタート。周囲は見ただことのないような強豪選

手ばかりで、かなり緊張した。飛び越えた2回目でも体がガチガチに硬いまま、なぜ成功できたのかわからなかったという。1筋98でようやく落ち着きを取り戻したが、微妙に方向を変え続ける風に対応

続行する予定だ。

努力足りなかった

竹中

○：「遠くに遠くに飛ば

課題はたくさん

小玉

○：「来ただけのインターハイになってしまった」。女子三段跳びの小玉葵水は競技を終えてつぶやいた。2日前の走り幅跳びで自己記録の5筋80をクリアで

かちまいスポーツ

記録の速報は ▶ kachimai.mobi
写真がほしい ▶ 01200-25-9410

【女子三段跳び・予選2組】小玉葵水

